循環器病対策の進化が紡ぐ「命のセーフティネット」

循環器病対策情報センターの４つの班が有機的に連携することで、全国民を脳卒中・心血管病から守る包括的な支援体制を構築する

確かな評価（4班）で未来を改善する

循環器病対策推進基本計画の進捗管理と評価

【可視化】評価指標や具体的な目標値を設定し、都道府県計画の進捗を厳密に管理・評価

【進化】第二期基本計画の評価結果を次期計画（第三期）へ反映させ、対策のPDCAサイクルを完遂

データの力（1班）で現状を把握する

医療DX連携・バーチャルDB(仮)の構築に向けた検討

【基盤】科学的根拠に基づき、循環器病対策の総合的な推進をデータの視点から支援

【統合】学会や公的DBのデータを収集・統合し、データプラットフォームのコンセプトを確立

正しい情報（3班）で国民を啓発する

国民に対する循環器病の科学的根拠に基づく情報収集と発信

【理解】がん情報サービスの成功要因を踏襲し、国民の主体的な疾患への理解を醸成

【発信】最新の臨床・疫学知見を一元化し、国民が容易に入手できるポータルサイトを開設

現場の知恵（2班）で患者を支える

全国の脳卒中・心臓病等総合支援センター等への支援

【展開】困難事例に対する助言や、現場の「好事例」を全国へ横展開（厚生労働科学研究班と連携）

【充実】人材育成を通じて、全国どこでも共通水準の保険・医療・福祉サービスを提供